

# 神子区公民館だより

第43号

令和3年4月

発行責任者  
高下清人

☎59-2533

## 新年度にあたり

昨年度は新型コロナウイルスに翻弄され、区の行事を一部中止するなど気をもんだ一年間でした。  
今年度は、新型コロナウイルスワクチンを国民全員が接種でき、普段通りの日常に戻ることをご心から願っているところです。

このような中でも、神子区は明るい将来に向けて「新・地域づくり活性化計画書」を策定しました。絵に描いた餅とならないように、区民の皆さんと一つひとつを検証し、確実に達成するよう努めます。そうすることにより、明るく未来ある神子区に発展するものと確信しています。  
今年度は、福祉関係に重点を置き「福祉部会」を立ち上げたいと考えています。区においても高齢者の人口が増えることは間違いありません。まずは自分自身の自立がなによりではありますが、加齢による体力の衰えを止めることは難しいです。隣近所や地域が手を取り合いながら共に助け合うなど「互助・共助」が必要になってきていると思います。そのためには皆さんの関心と協力が大事になってきます。役員一同が一丸となって取り組む所存ですので、皆様からのご意見等をぜひお寄せ下さい。

いざ、『オール神子で 新たな挑戦』といきましょう！

〈館長〉



## 稲留神社歳旦祭

令和3年元旦（金）稲留神社で「歳旦祭」を執り行いました。

大晦日の午後5時から明かりを灯し区民の皆様の参拝をお待ちしました。元旦は、庭で薪に火を入れ暖をとりながら宮司さんの到着を待ちました。午前7時から役員全員16名が、宮司さんの祝詞に姿勢を正しました。区民の皆様と役員の家内安全・無病息災・五穀豊穡と新型コロナウイルスの早期終息を祈願しました。

今年の元旦から3日までに131枚のお賽銭が納められていました。また、その後の1月末日までに117枚（計248枚）の賽銭を確認しました。単純に枚数だけでは判断できませんが大勢の方々の参拝があったものと推察します。神子区の鎮守様である稲留神社を区民で守り続けていかなければならないと感じました。〈館長〉



宮司の祝詞（のりと）に聞き入る参加者

## 稲留神社他清掃

### しめ縄づくり

見事な手さばき

ばっさり切りました



12月20日（日）新年を清々しい気持ちで迎えようと、午前7時から神子区の鎮守様である稲留神社と天狗トンネル出口の紅葉園、区コミセンの3か所の清掃をしました。

区コミセン庭の枯れ木（一ツ葉の大木）を大野喜代美会長（新田）が手際よく伐採し、その木で椅子まで作成。立派な休憩場所ができました。



公民会長が総出で完成！

清掃完了後、稲留神社に集合。公民会長たち10名で3本のしめ縄を編みました。鳥居・社殿入口・社殿奥に結び、歳旦祭で皆様を迎える準備完了。例年この後に行っている「忘年会」は、新型コロナウイルス対策として中止しました。一日も早い終息を望む次第です。

〈館長〉

## 消防ポンプ自動車交付式

3月16日（火）さつま町消防本部で消防ポンプ自動車交付式がありました。

団員への取り扱い説明後、日高町長からポンプ自動車の交付がありました。日高町長から「区民の生命や財産を守り安全で安心して暮らせる地域にして下さい」との言葉をいただきました。これにこたえ、高嶺実樹雄分団長がお礼の言葉を述べました。

今年の消防出初式は、積雪のため中止となりました。しかし、消防神子分団は何時いかなる時にも備え、分列行進等をシミュレーションするなど準備を怠りませんでした。

今年、薩摩支部消防操法大会が実施されます。昨年は新型コロナウイルスで中止となりましたが、神子分団は新しい消防車で「ポンプ車の部」で出場します。そのための操法練習を実施します。消防分団員は、良い報告が出来るよう頑張りますので、皆様からの応援・声援をよろしく願います。なお、消防出初式は中止となりましたが、神子分団にと、JA鶴田支所様と高下シヨツプ様からご厚志を賜りました。ありがとうございました。〈館長〉



区民の安全を守ります！！



町長からの交付

## 家の火災報知器は大丈夫？

平成23年6月から全ての住宅に設置が義務化され、そろそろ10年目を迎える交換時期がきています。

設置から7〜10年目となった火災報知器は、機器の劣化や摩耗があるため交換した方がよいとされています。10年を過ぎると摩耗故障期とあって電池を交換しても正常に作動しない時があるそうです。

先行して設置が義務付けられたアメリカの調査では、設置から8〜10年経過した住宅用火災報知器のうち、正常に作動したのは1/3で、1/3は作動せず、残り1/3は取り外されてしまいました。

皆さんの生命・財産を守る機器の一つです。設置時期を確認して対処されることをお勧めします。また、連動型住宅用火災報知器もあるようです。交換に当たり一考されたらどうでしょうか。この記事に関しては、さつま町消防本部からの助言と資料を参考にしました。〈館長〉



## 福祉餅を配布しました

12月26日(土) 午前8時から、4名の民生委員さんが区コミセンに集合し、福祉餅(紅白いこ餅)の袋詰めを行いました。その後各公民会長さんに配付をお願いし、声掛けしながら届けられました。対象者は63名(家族と同居または家族が近くに住んでいる方を除いた75歳以上の方)。今年も2個ずつお届けしましたがいかがでしたか。今年は新型コロナウイルスで外出等も制限され体調等が気になりますが、いこ餅を食べて元気で楽しく過ごしていただきたいと思います。(館長)



せつせと袋詰め



## 県下一周駅伝で大活躍

2月13日(土)から17日(水)まで県下一周駅伝が行われ内翔平さん(湯田原)が5日間の内3回出走しました。初日第7区で3位、3日目11区で3位、最終日6区で区間賞と大活躍でした。今年は、新型コロナウイルス対策で沿道での応援自粛の大会でしたが、川薩のたぬ主将として持てる力を出し切ったとのこと。総合成績は、4位に2分37秒及ばず第5位でした。(4位までがAクラス)川薩チームの健闘を称えるところにも、来年のAクラス奪還を目指してもらいたいと思います。(館長)



首位を力走する内さん  
初日7区(南九州市)

## 川内川清掃

1月24日(日)大野究さん(中間)から「気になってきた川のゴミを引き上げた」と連絡があり、ゴミは川に浮いていた約50mのひも状(ビニール系)で舟を借りての作業でした。大野さん夫妻、岩元昭裕さん夫妻と花田かずみさん(共に高嶺)が協力してくださいました。おかげで綺麗な川になりました。ありがとうございます。河川事務所にお願ひし、後日処分してもらいました。区民一人ひとりの気配りは、区全体が綺麗になり、住み良い地域になること間違いなしです。(館長)



大物を引き上げて  
川内川が綺麗に

## 区有林調査

1月31日(日)役員13名で区有林調査を行いました。調査に先立ち担当の大庭慶男さんが集成図を見ながら説明しました。今回は今年間伐を予定している小兎ケ尾(こうさぎがお)を現地調査しました。そこは昭和45(46年ごろ)植林したところで、50年を過ぎ立派に成長しています。調査は倒れた大木を乗り越え、急坂を登り降りし、巻き付いたカズラを切りながらの1時間30分でした。ユスは大樹(写真)です。皆さんが見学しやすいよう入口を整備し、看板も建てようとの声が上がりました。今後検討することにしました。(館長)



森の精霊(ユスの木)を背景に

## バス停にベンチを設置

ある日、民生委員の丸尾省吾さん(高嶺)から「バス停に椅子があれば」と要望がありました。社会福祉協議会の「地域へのバス停等設置事業」から3台配付があり、その1台を高下ショップ前バス停に設置しました。バスの待ち時間やウォーキング等の休憩所として雄大な川内川を眺めながら活用してください。他2台は、区コミセンと大俣公民館に設置しました。公道への物の設置や作業、河川等での作業は、事前にその管理者と協議が必要です。(館長)



## 伝統文化を継承する

櫃ヶ迫公民会では、12月6日(日)毎年恒例の公民館清掃を行い、その後の忘年会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。しかし、櫃ヶ迫公民会に永年伝わる『浅山棒おどり』を参加者全員で披露して締め括りしました。最近、高齢化により踊り手が減っています。また唄手は、出陣の唄と踊りの唄それぞれ分担して唄っていますが、こちらも高齢化が進み今後が懸念されています。

保存会で定期的な練習と、鶴田小の児童を指導して運動会で披露するなど継承の努力を重ねています。区で唯一の伝統芸能を守るべく、継承のため打合せ会議費(H31から5年間)を助成しています。保存会会長の中園瀧男さんは、「櫃ヶ迫公民会だけの継承は大変厳しい状況であり、区民の皆さんへ声掛けし、参加を呼び掛けた」と話していました。



公民館の前で浅山  
棒おどりを披露



鬼火焚きで厄払い

また、1月10日(日)鬼火焚きを実施しました。地主さんの厚意により広い田んぼで、子供たちも大勢参加し、明るい時間に、年男・年女の人たちが点火。厄払いと無病息災、新型コロナウイルスの早期収束を祈念しました。(館長)

## 神子区高齢者クラブ

### グラウンドゴルフ大会

1月9日(土)午後1時30分から区コミセンで、高齢者クラブグラウンドゴルフ大会を実施しました。総勢42名が集合。下大迫次男会長の号砲でグループごとにスタート。賑わいながらも真剣そのもの。熱戦の結果は左記のとおりでした。

大会開催にあたっては、前日から雪が降り積りましたが、除雪やグラウンドの整備等役員の方々の尽力によりスムーズに進行できたことを申し添えます。

健康一番。今後も体に気を付けて、人生を楽しんでいただきたいと思います。(館長)



激戦の一面



表彰式の様子

- 成績**
- 優勝 高嶺 虎男さん(高嶺)
  - 準優勝 川口 満さん(高嶺)
  - 第3位 高下 豊重さん(高嶺)
  - 第9位の方が受賞



旗を掲げ安全を守ります

